

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
人体の構造と機能14							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
鍼灸学科・昼間部	2年	2期	西野 祐介				
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門基礎分野	人体の構造と機能		座学	1	10		
科目概要							
体性―内臓反射、骨格筋の種類、作用、構造、収縮の仕組み、平滑筋・心筋との違い、神経支配、運動の調節について学ぶ。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	鍼灸師に必要な筋・運動についての知識を身に付け、筋肉の基礎知識を修得する。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	①体性―内臓反射について説明できる。 ②骨格筋 構造と働き、平滑筋・心筋と 誤差を説明できる。 ③骨格筋 誤差について説明できる。 ④運動中枢について説明できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
教科書読解能力 コミュニケーション能力							
教科書・参考書							
生理学 解剖学							
受講上の注意							
適宜小テストを行います。1年生の時に学習した解剖学、生理学の知識が必要になることもあります。あやふやな所や覚えていない所はぜひ調べてみましょう。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	体性―内臓反射の特徴			生理学 p212～213	教科書 筆記用具		
第2回	各器官における体性―内臓反射			p214～215	教科書 筆記用具		
第3回	筋・骨格筋の構造と働き			p228～221	教科書 筆記用具		
第4回	筋・筋の収縮の仕組み			p222～225	教科書 筆記用具		
第5回	筋・心筋と平滑筋、運動・骨格筋の神経支配			p226～229	教科書 筆記用具		
第6回	運動・筋紡錘と腱紡錘・運動の調節			p230～234	教科書 筆記用具		
第7回	運動・運動の調節			p235～239	教科書 筆記用具		
第8回	運動・脳幹による調節			p240～242	教科書 筆記用具		
第9回	運動・大脳基底核による調節			p243	教科書 筆記用具		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
nisiho@nihonisen.ac.jp							